

さがみ野ホーム地域連携推進会議 議事録

開催日時： 2026年2月19日（木） 10:00 ～ 11:15

開催場所： 社会福祉法人聖音会さがみ野ホーム 会議室

出席者：

施設側： 管理者 園長 佐竹 昇平

入所主任 尾崎 僚一

総務 佐竹 浩平（記録）

外部： 地域住民代表 民生委員 稲村 絹枝様

福祉についての知見者 綾瀬市障がい児者相談センター所長 八重樫 譲様

利用者様ご家族

利用者様

施設内見学

*施設内見学中ご質問

（稲村様）集会室が地域の緊急の避難所とだれていますが何人位の収容を予定していますか？

（施設）20名の受け入れの為の準備をしています。

（ご家族様）防犯カメラ設備を見るのは初めてでこのような設備があると安心する

会 議

1. 報告事項

さがみ野ホーム概要

*今日は初回なので歴史的なお話をすると、1979年設立でその後、東日本大震災を受けて耐震基準の見直しがあり、早いですが2014年に建て替えを実施した。その際に建て替え前は4人部屋等であったが完全個室化を実現した。各部屋にトイレもつけたかったが介助等必要なケースもあり共用としたが数は2人に1か所位の割合多く設置している。特徴としては利用者様の家族会が存続しており家族の皆様イベント等のご協力を頂いて運営出来ている。

利用者の生活の様子

*利用者様のご高齢化が進んでおり中々全員で外出等は難しくなっているが、必ず1カ月に1回は外出できるように支援している、外出できない分季節ごとのイベント、夏祭り、秋祭り、クリスマス会や誕生日会等充実している。また、利用者様

の会「やよい会」を毎月開催しておりそこで食べたい食事等ヒアリングして食事のメニューに反映している

虐待防止対策等

* 基本的な指針を制定しているが、現在が身体的な暴力でなく。言葉による虐待が問題になっている。利用者様への言葉遣いや態度等職員の研修等も年数回実施している。なにより、さがみ野ホームでは虐待と思われるものはすべて行政に報告している。過去にやはり数件虐待事案が発生しているが、オープンにすることでしっかりとした改善をしている。

地域との関係

* 盆踊りや神輿の受け入れなどの地域活動の参加の他、他の施設との交流や近隣のつばみ保育園や綾瀬小学校との交流実施している。小学5年は施設内見学で歌などの交流もしている

2 参加者様のご意見

(稲村様) 近隣住民として、さがみ野ホームの盆踊り大会に参加の交流などを続けてきたが、盆踊り自体が中止になり残念である。今日の説明で虐待等についてもしっかりと取り組んでいるので安心しました。

(八重樫様) 相談員の立場からいうと、さがみ野ホームが高齢者施設にも関わらず年齢が達していなくても障がいをお持ちの方の緊急の受け入れの対応をしてくれているので地域にお住いの障がい者にとっては大切な拠点となっている。

虐待の対応についても隠蔽することなくオープンにしていることで、その後の被害がエスカレートするのを防いでいると思う。

(ご家族様) 2,012年から家族がお世話になっているが入った当初は同室の利用者様からのいじめ等あったが、完全個室化されてからはなくなった。仕事で他の施設等見ているが、さがみ野ホームは手厚い対応をしてもらっていると思う。

(利用者様) 毎日楽しく暮らしている、イベント等に参加するのも楽しい。

3 最後に

本日は、会議のメンバーにさがみ野ホームの概要を理解してもらった。今後は個別案件について具体的な検討ご意見を頂くことを考えている。今後ともよろしく願います。本日はご参加ありがとうございました。

以 上